

子どもたちの健全な育成には、心と身体のケアが必要です。子どもたちが健康に育つために必要なのが栄養バランスのよい食事ですが、子どもの7人に1人が貧困状態であり、大人一人で子どもを育てる世帯の貧困率は48.1%にも及びます。(※厚生労働省発表2019年国民生活基礎調査より) 困っている人に手を差し伸べる、できる範囲で支援するのは、「人を思う」人権感覚の基本です。未来を背負う子どもたちのためにできること、あらためて考えてみませんか？



フード・ドライブ (生活困窮世帯への食料寄付) へのご支援を

必要な食べものが不足する世帯が増えています

ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安による原材料高などの影響で、我が国の物価上昇が止まりません。山梨県が平成29年に行った調査では、山梨県の子どもたちの相対的な貧困率は10.6%。約10人に1人の子どもが、平均的な生活水準の半分以下の生活をしているという結果が出ました。

県内で一年間に延べ1万件余の食料支援をしている認定NPO法人フードバンク山梨に最近の状況を伺ったところ、最近の物価高の影響で、子どもに与える食事にも事欠き食料支援を求める子育て家庭(その多くは母子世帯)が一層増えているそうです。

同法人の支援を受けた家庭から寄せられた手紙の一部を、以下にご紹介します。

「子どもたちに食べるものがなくなってしまった時も、フードバンクのおかげでしのげています。」

「お米が足りなくて困ったときにフードバンクのお米を足して、何とか食べることができました。」

「物価が値上がりして、食品や日用品など買いたくても買えないので、生活の基準がおかしくなっていました。子どもに『おかし食べたい』って言われても買ってあげることができなくて、本当にうれしかったです。」等々

県内全ての子どもが健全に成長できる食生活の保障を

同法人によると、生活困窮する子育て家庭の中には、「給食のない長期休み(夏休み等)の前と後で、子どもの体重が減ってしまった」という話を伺うことがある、とのこと。子どもがどんな家庭に生まれても、健全な成長に必要な食事が与えられる世の中を作ることは、私たち大人の責任だと思います。本来の望ましい姿としては、行政がそれをしっかりと保障する仕組みをつくるべきです。

当面、私たちができることのひとつとして、県内各地で取組まれている「フード・ドライブ」(生活困窮世帯に寄付する食料を集める事業)に協力することがあります。県内の代表的な実施団体であるフードバンク山梨では、同事務所(南アルプス市百々 2697-2、TEL 055-298-4844)で随時受け付ける(持込、又は宅配便)ほか、今月(10月)16日から約1か月間、県内12か所の社会福祉協議会(中央市、南アルプス市、山梨市、笛吹市、大月市、身延町、富士川町、市川三郷町、富士河口湖町、昭和町、上野原市、都留市)でも寄付を受け付けています。(※1)また、県(子ども福祉課)では県内35か所の「子ども食堂」を紹介していますので、そのうち最寄りの団体などに寄付することも考えられます。(※2)

皆様のご家庭にあるもので、「①賞味期限が明記されており、2カ月以上あるもの、②常温保存できるもの、③未開封で、破損などで中身が出ていないもの」の3条件を満たす食品(アルコールや生鮮品は対象外)でご提供できるものがありましたら、ぜひ上記の団体などに寄付していただくことをお勧めしたいと思います。

(※1)
認定NPO法人フード
バンク山梨「食品の寄
付のお願い」



(※2)
山梨県(子ども福祉課)
「子ども食堂(県内の
子ども食堂一覧、等)」



活動 報告

- 人権啓発パネル展 10月12日(水)~18日(火)甲斐市役所新館1階ロビーにて、人権啓発パネル展を開催。
- 人権啓発講演会 10月5日(水)甲府市庁舎にて、人権啓発講演会を開催。
- 人権移動教室 10月6日(木)甲府市立山城小学校にて、人権移動教室を開催。



今後の 予定

- 人権啓発講演会 11月16日(水): 甲府市環境部
- 人権啓発パネル展 11月4日(金)~11月16日(水): 甲府市役所中道支所
11月8日(火)~11月21日(月): 甲府市中央公民館
- 人権移動教室 10月24日(月): 甲府市池田小学校
11月10日(木): 甲府市東中学校
11月21日(月): 甲府市北中学校



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長: 横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業: (株) 成心設備、西関東開発 (株)、(株) ウィルマート、(株) RSC、(株) フジコー、(株) 渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株) とちの木

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチだより (2022 年 10 月号)

甲府市西中学校 (女子)

甲府市立西中学校

私は、この人権セミナーで、杉藤さんのお話を聞き、「人権」とは何か分かりました。今までは、「人権とは何？」と聞かれるとつい難しく考えすぎてしまうことがありました。ですが、国境なき医師団のスライドをみて、今の日本ではありえないような戦争や紛争がおこっている国へ自分を危険にさらしてまで多くの人々を救いたいという人もいると知りすごいなと思いました。「人権」とは、「生きたい、幸せになりたい」と思って生きることだと私は思いました。これからまだ、何十年も生きていく私たちが人権を尊重できる世界をつくりあげていければいいなと思いました。

今日のセミナーで学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。また、電車で高齢の方が乗ってきたら、席をゆずるなど、やさしいことをあたりまえにできる人になれるよう努力をしたいと思います。

甲府市西中学校 (女子)

甲府市立西中学校

私は、人権とは、「自分の命を守り、自分の幸せを守る権利」というのが心に残っています。普段私が「なんの不便なく快適に過ごしているのは、国境なき医師団の方がたなどのおかげ」ということが、今回のセミナーで分かりました。世界には、戦争や災害などで苦しんでいる人がたくさんいて、その人々を自分の命までかけて助けるという医師団の方がたがすごくかっこいいなと思いました。私たちは毎日楽しく水や食料などに困ることなく過ごしています。これが「これだけ幸せでありがたいことか」、今回のDVDを通して分かりました。他人のことをつねに考えるような優しい人になりたいと思いました。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。